



かめるをたしかめる
特定非営利活動法人
日本顎咬合学会
THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

2026年度 日本顎咬合学会

WEB認定医教育研修会

テーマ 咬合とデジタル

配信期間

2026年12月14日(月)～12月20日(日)

挨拶

認定審議運営委員会委員長 松崎浩成

歯科医療各分野にデジタル技術が応用されるようになって久しい。当初デジタルX線やCAD/CAMなど正確性、効率化を目的とされてきたが、近年では、豊富なデータを統合することによる正確かつ精密な審査・診断・治療計画に基づいた精度の高い治療が可能な時代となってきました。

今回このような分野で研究と臨床応用の見識が豊富な鶴見大学歯学部クラウンブリッジ講座重本修伺先生にご講演いただきます。

デジタルデンティストリーの内容ですが、多くの先生の臨床の始まりはアナログであり、その卓越したアナログが持つ感覚的な洞察と、デジタルがもたらす客観性を融合させることが大切で、デジタルを有効に臨床に活かすためには、アナログをよく理解することが必須条件と考えます。

顎口腔機能はアナログです。

このことを念頭にこの講演を受講し臨床に活かしていただければ幸いです。

講師

シゲモト シュウジ

重本修伺先生

(鶴見大学 歯学部歯学科 クラウンブリッジ補綴学 講師)

講演時間 1講演 60分(計2講演)

申込み方法

Web サイトよりお申し込みください

URL <https://ago.ac/>



申込み切

2026年 11月30日(月)

※入金後はいかなる理由にもかかわらずご返金は致しませんので
予めご了承ください

WEB オンデマンド配信 URL・パスワード発行

今大会はWEBオンデマンド配信となりますので、配信期間中
であればいつでも視聴していただけます。

参加登録とご入金の確認後、WEBオンデマンド配信URLとID
&パスワードをご登録のメールアドレスにお送りいたします。
(配信の1週間前頃の予定)

受講料

会員歯科医師 ￥8,800(税込)

会員歯科技工士・会員歯科衛生士 ￥5,500(税込)

会員歯科助手・準会員 ￥3,300(税込)

10単位
取得

認定医・指導医

認定歯科技工士・指導歯科技工士

認定歯科衛生士・指導歯科衛生士

※2つの講演をすべて受講して10単位(どちらか1つだけの講演を受講されても単位は取得できません)

※受講後の画面上に表示されるアンケートへのご回答をもって受講終了となります。



重本修伺 先生
Shuji Shigemoto

鶴見大学 歯学部歯学科
クラウンブリッジ補綴学 講師

PROFILE

1992年3月 徳島大学歯学部卒業
1996年3月 徳島大学大学院歯学研究科博士課程修了
1996年4月 徳島大学歯学部附属病院医員
1997年7月 徳島大学 助手(第2補綴学講座)
2000年4月 Zurich大学 顎機能障害講座
2002年4月 徳島大学 助教(顎機能咬合再建学)
2016年4月 鶴見大学歯学部 講師(クラウンブリッジ)

所属学会

日本補綴歯科学会 1992～
日本顎口腔機能学会 2003～
International Association for Dental Research 2003～
International College of Prosthodontics 1999～

デジタル技術が拓く次世代の咬合診療

適切な補綴治療による顎口腔系の形態と機能の回復・維持には、それらの総合的な評価が不可欠である。従来、その評価には咬合器が用いられ、上下顎の位置関係や下顎運動を口腔外で再現して、補綴装置の設計や咬合診断が行われてきた。しかし、従来の機械式咬合器では、患者固有の複雑な形態や機能を正確に再現できない。

近年、デジタル技術の発展により、スキャナー、CT、顔貌計測、顎運動計測などの多様なデータを統合し、患者固有の形態および機能をデジタル空間上に再現する Virtual Patient の概念が注目されている。さらに、時系列データや機能変化を取り込み、現実の患者と連動しながら診断や将来予測を行う Dental Digital Twin へと発展しつつある。

本講演では、まず咬合および顎運動の再現に必要な基本概念について概説し、デジタル咬合器、Virtual Patient, Dental Digital Twinへと至る技術的進歩を紹介する。次いで、われわれが取り組んでいる Dental Digital Twinを活用した補綴設計および顎機能診断への応用について報告する。本技術は、患者一人ひとりに最適な治療法の選択や予後予測を可能とし、従来の集団の平均データに基づく標準的医療から、個別化医療への発展に寄与するものである。

本講演を通じて、デジタル技術が切り拓く次世代の咬合診療の可能性と、その臨床応用の展望について共有したい。

ご注意ください!!!

「WEB認定医教育研修会」は「認定教育講演」とは異なる研修会です

「WEB 認定医教育研修会」を受講しても、指導医・認定医の更新に必須の「認定教育講演」の参加履歴にはなりませんので、ご注意ください。

「WEB認定医教育研修会」➡ 受講することにより 10単位が付与されます

「認定教育講演」➡ 参加履歴が必要となる講演ですので単位の付与はございません